学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和４年　１２　月　２３　日（金）
第　　５　　号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地１
電　話　０１５５－５５－２１２１
ＦＡＸ０１５５－５５－２１２２

「食べることは命をつなぐこと」

北海道中札内高等養護学校幕別分校
校長　　太　田　千佳子

昔、担任したことのあるＡくん（当時小学３年生）は、偏食が激しい子でした。給食では、牛乳を半分しか飲めず、当然、午後の授業は起きていることができず横になっていることが多い子でした。

「食べよう」「少しだけ」等の言葉掛けに泣き出してしまうＡくん。どうかかわってよいか悩む日が続きました。いろいろな方法を試した結果、「食べなくても興味をもってもらおう」と学校では「たこ焼きづくり」を計画しました。同時に家庭では大好きなお父さんに協力を得て、晩酌中のおつまみの焼き魚をオーバーリアクションで美味しそうに食べてもらうことにしました。

Ａくんは、調理学習で友達が美味しく食べる姿に興味をもち、家庭ではお父さんのお魚の香りを確かめる姿が見られるようになり、少しずつ食べられるものが増えてきました。一番最初に食べるようになったのはお父さんのお酒のおつまみだったのを記憶しています。食べるものが増えてきたＡくんは、みるみる身体も大きくなり、活動的になってきました。Ａくんとの出会いは、食べることが命をつなぐことであることを教わった出会いだった、と改めて思い出されます。

幕別分校の生徒たちとＡくんは、実態の違いはありますが、食べる大切さは同じ。これから自立していくにあたって、「自分が何を食べたらよいか？」について考えることが必要だと思っています。

私は、最近自分が食べた栄養素を計算してくれるというアプリを見付け、食事を記録してみました。常に食事に気を付けているつもりでしたが「ビタミン」「鉄分」などが不足していると評価されショックを受けました。

年末年始、家族や親戚と食事をとる機会も多いことと思います。楽しい雰囲気は食事をもっと美味しくします。生徒たちには、自分の身体の調子と食事が大きくかかわっていることについて知り、いつまでも元気に働ける自分づくりについて意識してもらえたら、と思っています。

1学年宿泊研修

去る 10 月 12 日から 14 日の３日間、１学年は宿泊研修を行いました。

今回の研修では“十勝の産業について理解を深める”というテーマをもち、基幹産業である農業と観光について考える研修としました。帯広百年記念館で十勝開拓の歴史を学び、明治なるほどファクトリーでは十勝でとれた牛乳がどのように加工されるのかを学びました。“プロジェクト道の駅”と名付け、複数の道の駅、帯広市内外の観光施設を視察し、『幕別町本町に道の駅を作るなら…』という設定でどのような施設があったらよいか考える機会をもちました。作業学習で作った野菜を入れたカレーライスはとてもおいしかったし、銀河の森天文台ではタイミングよく雲が切れて、きれいな星を見ることできました。

コロナ禍のため、見学が難しい企業があったり、乗り物の中や食事中も話さないようにしたりするなど、制限の多い研修となりましたが、無事に３日間の研修を終え、学年の絆も深まったと思います。ひとえに、ご家庭をはじめ、研修先など地域の方々のご協力のおかげであると考えます。ありがとうございました。

１学年主任：高　崎

2学年見学旅行

２学年は 10 月 25 日(火)から 28 日(金)の日程で関西方面に見学旅行へ行ってきました。１日目には、移動が多く、新千歳空港から羽田空港で乗り継ぎ羽田空港から伊丹空港まで２回飛行機に乗り、夜に京都市内のホテルに到着しました。２日目は京都市内三カ所を見学してきました。清水寺は舞台から美しい景色を見ることができました。金閣寺では天気が良く金色が鮮やかでとても美しかったです。伏見稲荷の鳥居の多さにびっくりしました。夜は京都駅付近を各グループで買い物や夕食をたべて過ごしました。３日目は大阪に移動してユニバーサルスタジオジャパンや大阪城を見学して楽しい時間を過ごしました。

４日間、天候にも恵まれて、充実した実りある楽しい旅行をすることができました。生徒の感想からも「金閣寺、金ピカで最高だった」「大阪城までたくさん歩いて疲れた」と充実した声を聞くことができました。生徒達にとってはきっと一生の思い出ができたことだと思います。

見学旅行で得た経験を次につなげ、さらなる成長を期待しています。保護者の皆様におかれましても、これまでの準備やご協力いただきましてありがとうございました。

２学年主任：松　橋